

秋川流域河川整備計画（原案）への関係住民からの意見と対応

整理番号	意見・提案	基本的な考え方
1	<p>天候が良ければ毎日のように五日市橋から十里木の間を気分しだいでコースを変えて7～8 Kmのインターバル速歩をしています。ほとんど秋川河川際を歩くようにしていますが、途中で道が途切れて迂回したりして川沿いのコースを楽しめません。</p> <p>また管轄はわかりませんが杉木立が川沿いに鬱蒼として景観を楽しめません。</p> <p>下流に行くほど土手が護岸がコンクリートになり石を積み上げたビオトープに近い、遊歩道を兼ねた土手で遊べる護岸に改良していただけませんか。</p> <p>狭い渓谷部分もあるので遊歩道がすべてつながるのは無理でしょうが休憩所（ベンチ）があったり、トイレ（給水所）が整備されていたり、案内マップがあったり、水際のすぐそばを自然を感じながら歩けるように整備してください。</p>	<p>遊歩道や案内マップ、遊歩道等の整備については、設置可能場所の有無や地域のニーズ等を踏まえ、地元自治体や関係機関と連携し、検討していきたいと考えています。</p>
2	<p>檜原の、特に南秋川は5～6年前の台風により数馬～出畑くらいまで、以前の道路工事による発生砂利により、売り物である清流の川の淵がなくなり砂利の川になってしまっている。</p> <p>特に人里～出畑辺りの川がひどい。この為、ヤマメはもちろんカジカもいなくなり、ヤマメなど大きく育つ淵がなくなってしまっていくら卵を埋設、稚魚を放しても、数は多いが、大きくなる前に釣られてしまう。</p> <p>景観はもちろん釣り客、観光客にとって魅力がなくなっているのが現状です。このまま何もしないでおいたら昔の川に戻るまで50～100年かかると思う。</p> <p>至急、堆積している砂利の撤去を願うものです。</p>	<p>河道内の土砂の浚渫については、流下能力上の必要性や河川全体の河床変動を踏まえ、地域の要望等を考慮しつつ、必要に応じて実施していきたいと考えています。</p> <p>なお、実施に際しては、魚類等の生息環境を守るため、巨石は搬出せず存置するなどの処置を講じていきます。</p>